



地域がん診療連携拠点病院・災害拠点病院・基幹型臨床研修病院・協力型臨床研修病院・地域医療支援病院・熊本DMAT指定病院・救急指定病院

理念

135年の歴史と設立の経緯を忘れず全人医療を提供します

基本方針



患者中心医療

患者の人権と
意思を尊重します

患者診療3本柱

がん・救急・
予防医療を中心に
医療機能の
充実を図ります

完結型医療

地域の医療機関
との連携を行い
安心できる医療の
展開を行います

社会貢献

災害医療派遣・
医療情報公開・
医療ボランティアの
活動を行います

医療人育成

医療に携わる
喜びが持てる
医療人の育成を
行います



ご挨拶

新年あけましておめでとうございます。

去年は、病院建て替えに伴い皆様方にはご不自由、ご迷惑をお掛けして誠に申し訳ありませんでした。皆様方のご協力のお陰で一先ず本館工事が終了しました。新しい職場では新鮮な気持ちで職員一同日々の臨床に邁進しております。皆様方に安心、信頼される地域医療中核医療機関を目指して尚一層努力していく所存ですので変わらぬご支援ご厚情のほどお願い申し上げます。

さて、今年には社会保険病院、厚生年金病院、船員保険病院57病院がひとつのグループとなり「独立行政法人地域医療機能推進機構（JCHO）」として4月からスタートします。当院も名称を「人吉医療センター」と変更して新たに出発します。新しいグループの使命は、5事業（救急医療、災害医療、へき地医療、周産

期医療、小児医療）、5疾病（がん、脳卒中、急性心筋梗塞、糖尿病、精神疾患）の医療提供ならびに、更に進む高齢化に対し地域全体で取り組む「地域包括ケア」と患者の全身を診れる「総合診療医」の育成です。そのために、これまで以上に人吉・球磨、えびの、伊佐の行政機関や医師会、歯科医師会、薬剤師会等、そして公立多良木病院、北薩病院、えびの市立病院、更に熊本大学と強い連携を構築して使命を果たしていく所存です。どうか皆様方のより一層のご支援をお願い申し上げます。

最後に本年が皆様方にとって良い年であることを心から祈念申し上げます。

平成26年元旦

病院長 木村 正美

ノロウイルス感染症

～ノロウイルス感染患者の対応は万全か～

ノロウイルス感染症をはじめとした、感染性胃腸炎の多くは、院外からの持ち込みがほとんどです。なかでもノロウイルスの感染力は強く、昨シーズンの流行期には病棟閉鎖を余儀なくされる状況になることもありました。今年は新病院が建ちあがって初の流行期を迎え、対策の充実に取り組みましたのでその一部をご紹介します。

《正確で迅速な情報共有》

1. 携帯電話登録「職員一斉メール」を利用した情報配信
(災害拠点病院として職員への連絡に利用する登録メール)
2. 院内 LAN メール配信
3. 職員緊急電話連絡網の利用
4. 職員全体研修

《必須でない面会の制限》

1. 病棟入り口設置扉の閉鎖
2. 通行可能な経路指定 等・・

ご面会のみなさまへ



嘔吐・下痢・発熱などの症状がある方のご面会をお断りしております。

ご不明な点は、スタッフへお尋ねください。

特に、全職員が統一した対策を実践しアウトブレイクを防止するため、院内対策の現状をタイムリーに提供することに重点をおきました。

しかし、「職員一斉メール」登録者は30%、「院内 LAN メール」も休日では閲覧されず、「職員緊急電話連絡網」にいたっては、伝言ゲームのごとく「面会制限開始」が「病棟閉鎖実施中」になってしまう始末です。

今年初めの持込みは、実施したノロウイルス感染患者への対応が適切であったことから、さいわいにも感染拡大することなく経過することができましたが、情報共有には課題が残りました。100%の感染対策といったものではありませんが、それに近づける対策を提供していきますので「院内感染対策情報」に耳を傾けてみてください。

感染対策室 感染管理認定看護師 別府 るみ

ひまわり会開催

12月13日当院講堂において、ひまわり会（乳がん患者会）を開催いたしました。今回は、有限会社ストーマショップ木村の白石千春様を講師にお迎えして、乳癌術後の下着について学びました。

乳房の部分切除と全摘出では下着の選び方、調整の仕方が異なる事や、乳がんの手術後は患側が身体の内側に入り易いため、正しく下着を着用する必要があることなどを詳しく説明していただきました。患者さん自身も得意の裁縫の腕を活かし、ご自分で下着を作られたり、市販のパッドを上手に活用したりされている方も多く、患者さん同士で情報交換をすることもできました。

同じ疾患を体験した女性ばかりでしたので、話の流れから着用している下着を披露される方あり、サンプルで持ってこられた下着を着用してみられる方ありと賑やかに楽しい勉強会となりました。

また、デコルテの開いた洋服も楽しむことができるよ



うに、前傾の姿勢になった時に胸元が隠れるような下着や、蒸れにくい下着など患者さんの声を反映した下着も作られており、病気になってもおしゃれを楽しみ、いきいきと生活できるような下着が開発されている事を知ることができました。(当日さっそく、試着された患者さんが、がんと共存しながら、自分らしく生活をおくることができるように職員も生活者としての視点を忘れないようにしなければならないことを認識する機会となりました。これからも患者さんに役立つ情報を提供し、楽しくてためになる勉強会を企画していきたいと思います。

医療福祉連携室 社会福祉士 岡本 理恵

看護師卒後臨床研修（ローテーション研修）に参加して

当院では、平成20年度より新人教育の一環として、看護技術等を学ぶ為、OPE室・ICU、病棟のローテーション研修を実施しており、今回、私は、平成25年11月11～29日の3週間、OPE室・ICUへの研修に参加しました。この研修では、自分の所属している部署以外の看護の実際を体験することができ、看護の視野を広げることができました。

OPE室では、スタッフ一同、患者のみなさんを第一に考え、術前カンファレンスで情報共有化を図り、チームで医療を提供することで、安全かつ安心な手術が行われていました。

ICU研修では、患者さんの状態が超急性期であるため、患者さんの少しの変化も見逃さないよう、多角的な観察

やケアの提供が行われていました。1人1人症状などが違うため、それぞれの患者さんの観察ポイントなど学ぶことが多く、とても大変でしたが、今後の看護にとっても役に立つ研修となりました。

今回の研修では、看護職としての責任の重さを改めて再認識することができました。また、患者さんに安全、安心な医療を提供するためには、チーム医療が不可欠であると感じました。私もチーム医療を行う一員として、治療や看護について根柢を持ち、研修で学んだことを今後の看護につなげていきたいと思っています。

9階病棟 看護師 平生 愛



化学療法室 案内

当院は、2002年7月に化学療法室を開設し、今年で12年目を迎えました。

昨年の化学療法室の利用件数は1077件あり、外科、婦人科、血液内科、呼吸器内科、消化器内科、泌尿器科と様々な診療科の方が治療を受けられています。

今月からは、場所を8階病棟から2階エスカレーター降りてすぐ右に移し、より外来患者さんの利用しやすい環境でスタッフ一同、治療にあたり、他職種のフタッフで化学療法における身近な問題を一緒に解決できるよう支援しています。また、病棟の患者さんのラウンドや病



棟スタッフへの教育を行い、連携や看護の質の向上を図っています。当院の化学療法室では患者さん、ご家族を多方面からサポートし安心して治療を受けて頂ける環境を提供していきたいと考えています。

がん化学療法看護認定看護師 矢立 雅章

フレスコ壁画、もちの木移設

病院建替え前の管理診療棟（外来棟）1F待合ホールにあった壁画、および光庭に立っていたもちの木が新しい病院に移設されましたのでご紹介いたします。

フレスコ壁画は平成23年6月、壁面に書かれていた絵を特殊な手法で剥ぎ取られ、絵は作家本人のアトリエに持ち帰られて補修や補彩を施されました。絵は新しく4枚のパネルに張り込まれてきましたが、その4枚をつなげて元の大きな1枚の絵（2m20×6m84）になり、最後は男性8人掛かりで抱えて壁の枠組みの中にはめ込みました。場所は本館から放射線治療棟へ続く通路に設置済みです。絵には平成5年（壁画完成）当時の中川原公園で遊ぶ子供たちが描かれています。皆さん是非一度ご覧ください。

もちの木は平成23年11月に病院敷地の外に移植し、約2年の期間を経て新しい病院の敷地東側（駐輪場の横）に移設されました。移設当日は掘り取りの時と同様に木をクレーンで持ち上げ、作業は朝から晩までかかって慎重に地面へと植えられました。開院当初からあるこの木



が、また元気な姿で病院に戻ってきたことをとても嬉しく思っています。仮植え先でも大切に養生して下さい。造園の皆さん、ありがとうございました。

この歴史ある「もちの木」と貴重な「フレスコ壁画」が、これから先も続く病院の長い歴史をずっとずっつと見届け、見守ってくれることと思います。そして未来へ受け継がれますように。

経理課 那須 智子

**佐藤 敏美**

還暦、一週り。再出発。

**田山 千代美**

体調管理に心かけ心豊かにすごしたい

**政岡 絹枝**

うま〜く良い年に成ります様に頑張ります。

**杉本 秋実**

祝 還暦。日々好奇心を持ってすごしたいです。

**赤池 直子**

ひのえうまの年に生まれた子は気が強く、男を食い殺すといわれていますがそんなことはなく、幸せに暮らしています。

今年も本性をださず、やさしく穏やかに暮らしていきたいと思っています。

**坂崎 来美**

健康一番！マイペースで頑張ります。

**黒木 正明**

今年は、新機構として初年度になり色々大変な年になるかと思いますが、まめまめしく頑張ります。

**鵜口 ゆき子**

疾れ 然すればウマくい

**谷口 純子**

午は午でも丙午。60年に1度の美魔女。酒は飲みますが、男は食いません。

**西村 有香**

穏やかな女性になるように頑張ります。

**溝口 真理**

この機会に宣言します。今年からは、休肝日をもうけアルコールに飲まれないように気をつけます。

**藤本 郁子**

今年は資格取得に向けて頑張ります！

**西村 卓祐**

頑張ります。

**山本 誠子**

何事にもうま〜くいくように日々努力をしています。

**吉村 文子**

「整理整頓」

**川内 裕美**

健康第一！！今年もがんばります。

**横川 麻耶**

一日一日を大切に過ごします

**木野 早苗**

『大晦日を笑って迎えたい』

**瀬上 竜夫**

「いつどう始めるか」を考えるのではなく、「つねに今どう終えているか」

今を大事に！極めていきたい。

**地下 奈緒**

頑張ります。

**坂口 美樹**

今年こそは長年の目標を達成できるよう頑張ります。

**諸見 梓**

去年より仕事をもっとウマくこなせる様に頑張ります

**黒木 智佳**

今年も健康に頑張ります！！

**米本 理沙**

今まで以上に頑張りたいと思います！！

**中村 瑞枝**

全力で頑張ります

**皆越 ともみ**

一日一日を大切に過ごしていきたいです。今年も一生懸命頑張ります！

**木戸口 愛美**

がんばります！

**中尾 健人**

健康に気を付けて頑張ります。

**木原 成基**

健康第一で元気に頑張ります！

**生島 優**

細菌の勉強頑張ります！！

**谷脇 佳奈**

心エコーの勉強頑張ります！！

**谷口 智美**

『隠忍自重』

**北岡 志織**

「毎日笑顔で頑張ります！」

**田口 ゆり**

「転ばぬ先の杖」

**豊永 香織**

何事も楽しみながら一生懸命に取り組みたいと思います。

各部署 今年の抱負 ～ Vol. 1 ～

看護局



新年明けましておめでとうございます。昨年11月に新病院が竣工、いよいよ今年4月から新機構へと移行していきます。移行に伴う色々な変化に戸惑いを感じることもあるかと思いますが、私たち看護職員は一致団結し地域医療に貢献していけるよう、日々研鑽し看護力のレベルアップに努力してまいります。

在宅医療の推進に向け、訪問看護・地域包括ケアの充実に取り組んでいきます。今年も宜しくお願い致します。

看護局 局長 告吉 ゆかり

薬剤部



平成25年は病棟薬剤業務実施加算を算定することを目指し薬剤師の補充と業務の見直しを行い平成25年9月から算定が可能となりました。

病棟担当薬剤師を2名体制とし、入院時の持参薬の管理、与薬業務、薬歴のチェック、相互作用の確認、医師への処方提案等のチーム医療を実践し患者の薬物療法の質の向上と他職種の業務軽減、安全管理へ関わってきました。

平成26年は病棟での薬剤師の業務の成果を評価していかなければならないと思います。

治療への貢献度、安全管理への貢献度等を評価できたら良いと思います。

業務を評価することで薬剤師自身が達成感を得ることを期待しています。

今年度は診療報酬改定の年です。チーム医療の実績の評価が求められます。さらに在宅医療への薬剤師の関わりも求められます。院内ばかりでなく、在宅への関わりも模索したいと思います。

薬剤部 部長 福島 ゆかり

歯科・口腔外科センター



あけましておめでとうございます。

口腔外科センターも、わずかの間にスタッフが増え（医師3名、技士1名、看護師1名、歯科衛生士3名、歯科助手1名、）昨年同様、充実した診療を目指し頑張りたいと思います。

まず、昨年から、五木のスタッフの協力により、口腔ケアチームの結成、始動開始。今年も、病棟の患者さんを中心に、口腔ケアの向上に尽くして行きたいと思います。なかなか慣

れないグラウンドでの作業ですから、病棟スタッフ皆さんの暖かなご協力が一番の力になると思います。

声かけは勿論、惜しみない援助・介助どうぞ宜しくお願いします。

歯科外来も、紹介患者さん中心では有りますが、外傷、悪性腫瘍を含む口腔粘膜疾患等、現代の疾患と前向きに立会い、微力では有りますが、先生方の片腕として今年も頑張りたいと思います。

皆さん歯科・口腔外科センターを宜しくお願いします。

歯科・口腔外科センター 歯科衛生士 米多 万希子

リハビリテーションセンター



4月からは新機構へ移り、今まで以上に地域との連携を強化し地域包括ケアシステムの急性期医療での役割を活かせるように努めて行きます。

新しい施設にも半年経過し慣れてきました。昨年は引越してバタバタした年になりましたので、今年は新人教育やマニュアルの改訂に力を入れたいと思います。

リハビリテーションセンター 科長 塚島 靖博

臨床工学部



あけましておめでとうございます。昨年7月より開始した高気圧酸素治療も突発性難聴、腸閉塞、急性末梢血管障害、末梢循環不全による難治性の潰瘍、骨髄炎、術後創傷などに半年間で31症例263回実施し、補助療法として良い効果をもたらしています。球磨・人吉では当院でしか行えませんので、より多くの患者さんに安全に安心して治療を受けていただけるように努めて参ります。

臨床工学部 係長 上村 慎作

治験センター



平成9年新GCP（医療品の臨床試験の実施の基準に関する省令）が施行され、国内治験数が増えてきましたが、日本では新薬の多くが使用できない「ドラッグ・ラグ」解消のために世界同時開発も増えてきています。当院では、新薬治験も然ることながら、日々の治療評価や既存薬の検討（用法用量・併用薬）などの臨床試験に参加し、最適な治療法等を見出すためのエビデンスの構築を進めることに協力しています。近年は医師以外の各専門職種の研究支援も増え、オーバーヒート気味ですが「CRCにできること！」を一生懸命全うしたいと思っています。

治験センター CRC 岩崎 ユリ

お知らせ

第一中学校駐車場は、病院駐車場完成に伴って12月より使用中止となっております。

また、第3駐車場（第一中学校テニスコート裏）につきましても、工事のため1月より使用中止となっております。第3駐車場は工事（1～3月予定）終了後、使用再開となります。使用開始時期は決定次第、改めてお知らせ致します。皆様のご理解をよろしくお願い致します。





笑って健康促進！ 第96回 翔幻会開催！

平成二十五年十二月分開催分の句をご紹介します。
どうぞご鑑賞下さい。

川柳句会「翔」平成二十五年十二月分

- 此処に居るとと老父の咳一つ 西村比呂志
- 寒いはず市房山が雪化粧 西村比呂志
- 新築落成市内どこからでも見える 西村比呂志
- 寒い冬コートの下は厚着です 智子
- 体重計健康チェックのパロメーター 智子
- 食った量けいさんしながら乗っている 緋紗
- この旨さ体重なんざ気にしない 緋紗
- 指折って薬のかずで弾む会 佐津子
- 美女ちゃんいだからお洒落がなくなる 佐津子
- 雨の日おなかめらしてメタボ猫 カツ子
- 御馳走が年末年始さそってる カツ子
- 同じ物たべても夫はやせている カツ子
- サークルにはいつて知り人多くなり レイ
- 体重を笑ってごまかすオデブさん レイ
- 朝寝坊散歩は下を向きながら レイ
- 早朝の毘沙門掃除息白く マチ子
- しわのぼしひげそりしたらアッチッチ 圭子
- ダイエット片足上げてそとと乗る 圭子
- 着ぶくれてどこへも行かず日の暮る 圭子

次回も第四木曜日に開催となります。平成二十六年二月二十七日（木）十四時から本館二階患者図書室で開催致します。
ご自由にご参加下さい。投稿のみの参加もできます。院内設置の投稿箱にご投稿下さい。

新 任 紹 介



よしだ はるみ 吉田 晴美（外来・クラーク）

最終卒業校：精華女子短期大学

趣味：体を動かすこと

生活信条：感謝の気持ちを持ち続けること

自分の性格：物事を最後までやり抜く粘り強さがあります
自分のコマーシャル：再び戻ることができ、よかったです。
初めての職種で不安もありますが、一生懸命頑張ります・
よろしくお願いします。

門 松 設 置

毎年恒例の門松を施設課中村末太郎さんに造って頂きました。独学で始めた門松造りも今年で9回目を数え、今ではプロ顔負けの出来栄です。2回目のお手伝いになりますが、いつもの施設課山口さんに、今年は理学療法士の田上さん、看護師の中川さんが加わり、和気あいあいとした雰囲気での作業でした。昨年、今年のグランドオープンのためにと取っておいた大きい竹での立派な門松で、ご来院頂いた方に楽しんで頂きました。

地域連携室 山田 一裕



1月のフレッシュマンセミナー報告

- 1月 9日 下津 知美「世界のお正月について」
- 1月16日 今西 香央里「紫尾温泉について」
- 1月23日 四元 亜紀「願い事がかなう神社を知ってますか？」
- 1月30日 酒井利佳子「体腔液検体の取り扱い」

今月予定しておりましたセルフマネジメントプログラムを、都合により4～6月に時期をずらして行うことになりました。日程につきましては、改めてご案内致します。

1月の勉強会報告

1月8日(水)第51回 人吉・球磨最新医療研究会

「日の出を迎えつつある高分子型制癌剤(ナノメディン)-夢の実現に向けて-」

崇城大学DDS研究所特任教授

熊本大学名誉教授 前田 浩先生

1月9日(木)第74回 消化器カンファレンス

1.「当院における食道がんに対するweekly docetaxel療法の使用経験」

健康保険人吉総合病院 薬剤部 嘉村 基樹

2.「当院消化器内科研修中に経験した総胆管結石の一例」
健康保険人吉総合病院 臨床研修医(基幹型) 橘 秀和先生

3.「HCCで肝右葉切除後4年目にHCC再発との鑑別が困難であった右横隔膜下膿瘍の1症例」
健康保険人吉総合病院 臨床研修医(協力型) 増田 翔太先生

1月10日(金)第52回 人吉・球磨最新医療研究会

「胆道・膵癌治療の最近のトピックス」

徳島大学 消化器・移植外科学分野 教授

島田 光生先生

1月30日(木)第66回 乳腺カンファレンス

1.「両側乳癌術後の創部虚血に対して処置を行った一例」
健康保険人吉総合病院 救急総合診療科

田浦 尚宏先生

2.「両側乳がんの周術期の看護」

健康保険人吉総合病院 乳がん看護認定看護師

地下 奈緒

